

「第6回アワビ種苗生産に関する研修会」で、これまでの成果を報告しました。

平成26年9月25日、岩手県水産技術センターにおいて「第6回アワビ種苗生産に関する研修会」を開催しました。当日は岩手県栽培漁業協会、漁業協同組合、水産普及指導員など21名が参加し、「食料生産地域再生のための先端技術展開事業 アワビの緊急増殖技術開発研究」での、これまでの研究成果を発表するとともに種苗生産現場での現状報告など、活発な意見交換がおこなわれました。



「アワビの緊急増殖技術開発研究について」
(独)水産総合研究センター東北区水産研究所
主任研究員 高見秀輝 氏

「二次成熟卵を用いたアワビの種苗生産技術について」
岩手県水産技術センター
上席専門研究員 西洞孝広 氏

「好適餌料を用いた飼育技術の開発」
東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究
センター 教授 河村知彦 氏

「好適餌料を用いた飼育技術の開発」
(独)水産総合研究センター東北区水産研究所
研究員 松本有記雄 氏



岩手県水産技術センター山口 仁副所長 開会の挨拶(右)と武蔵達也 増養殖部長(左)

適切な採苗、初期飼育を支える餌料付着板の調整等、種苗生産現場ではさらにコストダウンも求められます。一日でも早い実用化に向けた研究が期待されています。